

2023年度近畿本部化学部会活動報告と2024年度計画

近畿本部化学部会長 伊藤雄二

1. 2023年度（昨年度）活動報告

昨年度は、感染症収束とともにようやく緊急事態の措置が解除されて、新たな常態が始まった年となりました。

部会活動においては、2025年大阪・関西万博への準備を意識して、化学技術力の発揮、デジタル技術の取り込み、マテリアルイノベーション並びに本気のカーボンリサイクルを考えるテーマに取り組みました。

「物質エネルギーへの化学技術力の発信（継続）」の活動方針に対しては、本年度の講演企画をする活動の中で、実践をはじめました。

主な事業活動であるCPD講演会・見学会・勉強会は、開催回数は5回と前年度と同規模となりました。見学会は開催するに至りませんでした。

4月総会記念講演や10月例会では外部講師から「マテリアルイノベーション」について講演していただきました。12月例会では内部講師から具体的な取組の紹介と技術討議を行いました。

7月と本年2月は他の部会・研究会との合同講演を継続しました。メインテーマとして、それぞれ『万博関連イノベーションと里山環境』、『健康・安全・環境』を取り上げました。

参加者数は、CPD講演会5回67名（会員62名）でした。なお、昨年度は4回開催で参加総数は78名でした。参加数減少の要因としては、化学技術を含む場合と含まない場合に生じる参加数の変動が大きいと解析しました。

幹事会活動は、部会活動の充実を図る活動方針（継続）のもとに実施しました。

1) 部会事業の充実に向け企画・運営を強化

企画では、副部会長を選任して、担当幹事のグループ化をしました

会計では、会計幹事を選任して、副部会長兼務にしました

報告では、査読者を総監の役割として、ノウハウの蓄積に努めました

2) 協会・団体に発信し社会貢献に寄与

『化学物質管理』専門の協賛団体から対外発信能力の協力を得ました

3) 近畿本部等と連携し部会の基盤を充実

近畿本部環境研と下記のテーマで協議しました

『本気のカーボンリサイクルを考える』テーマ等への協力関係

統括の化学部会幹事会と下記のテーマで協議しました

『化学物質管理研究会』近畿支部へのガバナンス支援策

『日本化学会春季年会』（2025年春は関大）への協力体制

『近畿本部化学部会設立50周年行事（2026年）』への協力要請

2. 2023年度会計収支報告（HP掲載は割愛）

- ・会計監査報告、2023年度会計収支報告

3. 2024年度活動方針

- ・部会事業の充実に向け企画・運営を強化
- ・協会・団体等に発信し社会貢献に寄与
- ・近畿本部等と連携し部会の基盤を充実

●未知の領域への対応

　　化学技術力の発揮とカーボンリサイクルの取組

●新たな常態に向けて

　　デジタル技術を取り入れ、イノベーションの取組

4. 2024年度幹事会メンバー一覧

- | | | | |
|--------|-------------|--------|------------------|
| ・伊藤雄二 | 部会長 | 近畿本部幹事 | 化学部会（統括）幹事 |
| ・斎藤俊 | 副部会長 | 企画主担当 | |
| ・高岡直樹 | 副部会長 | 会計幹事 | 企画担当 M O C S 研幹事 |
| ・中田将裕 | 副部会長 | 報告主担当 | |
| ・藤橋雅尚 | 報告担当 | | |
| ・堂動剛 | 企画担当 | | |
| ・橋本隆幸 | 報告担当 | | |
| ・久保田正博 | 報告担当 | | |
| ・末吉俊信 | (委嘱)業務監査役 | | |
| ・和田信之 | (委嘱)会計監査役 | | |
| 《新任》 | | | |
| ・濱崎彰弘 | 企画担当 | 環境研幹事 | |
| ・島野紘一 | 企画担当 | 会計副担当 | M O C S 研副担当 |
| 《退任》 | | | |
| ・喜多雅巳 | 元会計監査 | | |
| ・出口義国 | 元企画・報告・監修担当 | | |

以上

化学部会におけるCPD講演会

開催日	講演名	講演者所属	講演者	講演者数	参加人数	WEB配信
4月20日 (木)	化学産業のグローバル化と化学品管理の歩み ～先端化学研究分野における化学品管理のあり方についての一考察～	奈良先端大学院大学委託教員 (元日化協常務理事)	庄野 文章 薬学博士	15(1)	有	
7月15日 (土)	翻訳・通訳の自動化の進展 関西万博協賛内容の紹介 (トップの多言語ビジネス)	国立研究開発法人情報通信研究機構 フェロー	隅田 英一郎 工学博士	9	有	
	アジア奥地の里地里山から持続可能な暮らしが見えてくる	凸版印刷株式会社 情報コミュニケーション事業本部	安西 健 氏 農学博士			
	和歌山県工業技術センター	前 和歌山大学大学院システム工学研究科教授	養父 志乃夫 農学博士			
9月30日 (土)	光アップコンバージョンフイルム開発について	和歌山県工業技術センター	森 岳志 工学博士	10(2)	有	
	ものづくりを支える工業用保存剤 ～微生物から製品を守る技術～	大阪ガスケミカル株式会社 保存剤事業部 研究開発部	島野 錠一 (化学)	13(1)	有	
12月9日 (土)	加飾技術から加飾科学まで	東海大学 工学部、情報理工学部 教授	前田 秀一 (化学、総監)			
	世界の海水淡化化に貢献する日本の膜技術	東レ株式会社 フェロー、国際脱塩協会理事	栗原 優 氏 (化学)	19(1)	有	
3月9日 (土)	繊維製品の化学物質管理とサステナビリティ	技術コンサル"サボサス"代表、 化学物質管理士補	兒玉 哲夫 氏 (化学)			
共催関係	化学物質管理研究会 近畿支部主催					
8月5日 (土)	化学物質管理者の実務 ～社内教育の事例検討	技術コンサル"サボサス"代表、 化学物質管理士補	兒玉 哲夫 氏 化学物質管理士補	13	有	
	化学物質管理者の実務 ～幅広い実務知識の習得	一般社団法人化学物質管理士協会 近畿本部長、化学物質管理士	伊藤 雄二 (化学)			
2月17日 (土)	費助会員(個人) 三木理研工業	一般社団法人化学物質管理士協会 化学物質管理士補	大宅 浩一 氏 化学物質管理士補	11	有	
		一般社団法人化学物質管理士協会 高岡 直樹 (化学)	高岡 直樹 (化学)			

近畿本部－化学部会 2024年度活動計画案＆トピックス			
#	日程	実施状況	概要
24-1	4月総会 記念講演会 4月18日（木） (木)	化学部会主催 共催	<p>1. 総会</p> <p>2. 記念講演：メインテーマ 【日本のマテリアルノバーション】</p> <p>演題：『有機合成化学の技と業～41年の研究を振り返って～』</p> <p>講師：大江浩一工学博士 京都大学大学院教授</p> <p>メインテーマ：エネルギー問題とマテリアルノバーション</p> <p>開会挨拶 田岡直規氏 近畿本部長</p> <p>講演：「鹿児島によるCO2分離回収の最前線」 講師：谷口育雄氏 京工講師授 ハネル講師 各20分</p> <p>講師：「CO2分離技術と繊維」 西中久雄氏 JTCC理事長</p> <p>講師：「環境制御技術を用いたペブリカの新技術事例」 赤木友裕氏 部会幹事</p> <p>化学部会「本気のカーボンリサイクルを考える」 高岡直樹氏 部会幹事</p> <p>環境研究会「CO2削減技術解説とカーボンフライシング」吉田信氏 研究会幹事</p> <p>ハネル講師 (2) 「発電用非ガス用途の技術評議」(30分)座長 化学部会長 伊藤 哉二</p>
24-2	四組織合同 講演会 7月13日（土）	環境/繊維/農林/化学 共催	<p>メインテーマ：マテリアルノバーション</p> <p>講演「可逆性動的架橋高分子の応用材料開発：自己修復・リサイクル性・光機能性など」</p> <p>講師：川野真太郎 工学博士 (地独) 大阪産技研 (美之宮)</p>
24-3	10月例会 講演会 10月5日（土）	化学部会主催	<p>メインテーマ：マテリアルノバーション</p> <p>講演1.「キラルクロマトグラフィーの進歩と応用」</p> <p>講師1 西岡亮太氏 技術士 (化学、総合技術監理)、博士 (美学)</p> <p>講演2 「生物学と化学会をつなぐ技術とは！」</p> <p>講師2 河野毅氏 (生物工学、総監、生物工学部会長)</p>
24-4	12月例会 講演会 12月14日（土）	化学部会主催	<p>1.2月例会 講演1 「キラルクロマトグラフィーの進歩と応用」</p> <p>講師1 西岡亮太氏 技術士 (化学、総合技術監理)、博士 (美学)</p> <p>講演2 「生物学と化学会をつなぐ技術とは！」</p> <p>講師2 河野毅氏 (生物工学、総監、生物工学部会長)</p>
24-5	二組織合同	繊維/化学 共催	<p>メインテーマ:健康・安全・環境</p> <p>演題と講師:未調整</p>
2025年分			
25-1	4月総会 記念講演会 4月17日（木）	化学部会主催	<p>1. 総会</p> <p>2. 記念講演：メインテーマ 【日本のイノベーション】</p> <p>演題：「化学系高専における教育と将来展望」</p> <p>講師：増田興司氏 神戸高専准教授</p>